

(19)日本国特許庁(JP)

(12)特許公報(B2)

(11)特許番号
特許第7707450号
(P7707450)

(45)発行日 令和7年7月14日(2025.7.14)

(24)登録日 令和7年7月4日(2025.7.4)

(51)国際特許分類	F I			
H 0 4 N 23/60 (2023.01)	H 0 4 N 23/60	1 0 0		
H 0 4 N 23/63 (2023.01)	H 0 4 N 23/63			
H 0 4 N 5/262(2006.01)	H 0 4 N 5/262	0 1 0		
G 0 6 F 3/01 (2006.01)	G 0 6 F 3/01	5 1 0		

請求項の数 10 (全22頁)

(21)出願番号	特願2024-539610(P2024-539610)	(73)特許権者	521431088
(86)(22)出願日	令和5年4月28日(2023.4.28)		北京字跳▲網▼絡技▲術▼有限公司
(65)公表番号	特表2025-507243(P2025-507243 A)		Beijing Zitiao Network Technology Co., Ltd.
(43)公表日	令和7年3月18日(2025.3.18)		中国北京市海淀区紫金数碼園4号楼2層
(86)国際出願番号	PCT/CN2023/091784		0 2 0 7
(87)国際公開番号	WO2023/216942		0 2 0 7, 2 / F, Building
(87)国際公開日	令和5年11月16日(2023.11.16)		4, Zijin Digital Park, Haidian District, Beijing, P. R. China
審査請求日	令和6年8月6日(2024.8.6)	(74)代理人	100107766
(31)優先権主張番号	202210519438.5		弁理士 伊東 忠重
(32)優先日	令和4年5月12日(2022.5.12)	(74)代理人	100229448
(33)優先権主張国・地域又は機関	中国(CN)		
早期審査対象出願			

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 メディアコンテンツの撮影方法、装置、デバイス、記憶媒体およびプログラム

(57)【特許請求の範囲】

【請求項1】

メディアコンテンツの撮影方法であって、
撮影ページに対するページ表示操作に応答して、撮影ページを表示し、第1メディアコンテンツに関連するプロンプト情報を前記撮影ページに表示するステップであって、前記第1メディアコンテンツは、ユーザーがプリセットフィードバック操作を実行するメディアコンテンツにおいて、撮影時に撮影の特殊効果を使用された、かつプリセット条件を満たすメディアコンテンツであり、前記プロンプト情報は、ターゲット特殊効果のターゲットプレビュー画面を表示するために使用され、前記プロンプト情報は、前記第1メディアコンテンツのメディアコンテンツ情報と前記ターゲット特殊効果の特殊効果情報を含み、前記ターゲット特殊効果は、前記第1メディアコンテンツで使用される撮影の特殊効果である、ステップと、
前記ターゲット特殊効果を使用して撮影するためのトリガー操作に応答して、前記ターゲット特殊効果を撮影し使用して第2メディアコンテンツを生成するステップと、を含み、
第1メディアコンテンツに関連するプロンプト情報を前記撮影ページに表示する前記ステップは、
前記ターゲット特殊効果のターゲットプレビュー画面を前記撮影ページに表示するステップと、前記第1メディアコンテンツにおけるターゲットバックグラウンドミュージックをバックグラウンドミュージックとして追加するステップおよび/または前記撮影ページに表示される特殊効果パネルコントロールのコントロール名を、前記ターゲット特殊効果

の特殊効果名に切り替えて表示するステップと、を含み、前記特殊効果パネルコントロールは、特殊効果パネルをトリガーして表示するために使用される、方法。

【請求項 2】

第 1 メディアコンテンツに関連するプロンプト情報を前記撮影ページに表示する前記ステップは、

プロンプトウィンドウを前記撮影ページに表示し、第 1 メディアコンテンツのメディアコンテンツ情報および／またはターゲット特殊効果の特殊効果情報を前記プロンプトウィンドウに表示するか、または、プロンプトウィンドウを前記撮影ページに表示し、第 1 メディアコンテンツを前記プロンプトウィンドウに表示するステップを含む、請求項 1 に記載の方法。

10

【請求項 3】

第 1 メディアコンテンツに関連するプロンプト情報を前記撮影ページに表示した後、前記プロンプトウィンドウに付加される特殊効果プレビュー操作に応答して、前記ターゲット特殊効果のターゲットプレビュー画面を、前記撮影ページに表示するステップをさらに含む、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記ターゲット特殊効果のターゲットプレビュー画面を前記撮影ページに表示した後、前記ターゲット特殊効果に対するプレビューキャンセル操作に応答して、前記ターゲットプレビュー画面の表示をキャンセルするステップをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

第 1 メディアコンテンツに関連するプロンプト情報を前記撮影ページに表示した後、切り替え操作に応答して、前記撮影ページに表示されるプロンプト情報を切り替えるステップをさらに含む、異なるプロンプト情報は、異なる第 1 メディアコンテンツに関連付けられる、請求項 1 ～ 4 のいずれか一項に記載の方法。

20

【請求項 6】

前記プリセットフィードバック操作は、お気に入り操作を含み、前記方法は、第 1 メディアコンテンツに対するお気に入り操作に応答して、前記第 1 メディアコンテンツをお気に入りに追加するか、または前記第 1 メディアコンテンツおよびターゲット特殊効果をお気に入りに追加するステップをさらに含む、請求項 1 ～ 4 のいずれか一項に記載の方法。

30

【請求項 7】

撮影ページに対するページ表示操作に応答して、撮影ページを表示し、第 1 メディアコンテンツに関連するプロンプト情報を前記撮影ページに表示するために用いられるページ表示モジュールであって、前記第 1 メディアコンテンツは、ユーザーがプリセットフィードバック操作を実行するメディアコンテンツにおいて、撮影時に撮影の特殊効果を使用した、かつプリセット条件を満たすメディアコンテンツであり、前記プロンプト情報は、ターゲット特殊効果のターゲットプレビュー画面を表示するために使用され、前記プロンプト情報は、前記第 1 メディアコンテンツのメディアコンテンツ情報と前記ターゲット特殊効果の特殊効果情報を含み、前記ターゲット特殊効果は、前記第 1 メディアコンテンツで使用される撮影の特殊効果である、ページ表示モジュールと、

40

前記ターゲット特殊効果を使用して撮影するためのトリガー操作に応答して、前記ターゲット特殊効果を撮影し使用して第 2 メディアコンテンツを生成するために用いられる撮影モジュールと、を含み、

第 1 メディアコンテンツに関連するプロンプト情報を前記撮影ページに表示することは、前記ターゲット特殊効果のターゲットプレビュー画面を前記撮影ページに表示することと、前記第 1 メディアコンテンツにおけるターゲットバックグラウンドミュージックをバックグラウンドミュージックとして追加すること及び／又は前記撮影ページに表示される特殊効果パネルコントロールのコントロール名を、前記ターゲット特殊効果の特殊効果名に切り替えて表示することと、を含み、前記特殊効果パネルコントロールは、特殊効果パネルをトリガーして表示するために使用される、メディアコンテンツの撮影装置。

50

【請求項 8】

少なくとも 1 つのプロセッサと、

前記少なくとも 1 つのプロセッサに通信可能に接続され、前記少なくとも 1 つのプロセッサによって実行可能なコンピュータプログラムが記憶されるメモリと、を含み、前記コンピュータプログラムが、前記少なくとも 1 つのプロセッサによって実行されると、前記少なくとも 1 つのプロセッサは、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の方法を実行できる、電子デバイス。

【請求項 9】

コンピュータ命令が記憶されるコンピュータ読み取り可能な記憶媒体であって、前記コンピュータ命令がプロセッサによって実行されると、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の方法が実現される、コンピュータ読み取り可能な記憶媒体。

10

【請求項 10】

コンピュータプログラムであって、前記コンピュータプログラムがプロセッサによって実行されると、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の方法を実現する、コンピュータプログラム。

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本願は、2022年5月12日に中国国家知識産権局に提出された出願番号が第202210519438.5号である中国特許出願の優先権を主張し、当該出願に開示されている内容の全体が本願の一部として援用される。

20

【0002】

本開示の実施例は、コンピュータ技術の分野に関し、例えば、メディアコンテンツの撮影方法、装置、デバイス、記憶媒体およびプログラムに関する。

【背景技術】**【0003】**

関連技術では、ユーザーは、ビデオをお気に入りに追加することができ、または、撮影ページに入った後、特殊効果パネルを閲覧して好きな特殊効果を選択して撮影することができる。

【0004】

30

しかしながら、関連技術では、お気に入りに追加したビデオにおける特殊効果を使用して撮影する操作が比較的複雑であり、ユーザーにとって多くの時間がかかる必要がある。

【発明の概要】**【発明が解決しようとする課題】****【0005】**

本開示の実施例は、お気に入りに追加したビデオにおける特殊効果を使用して撮影するために必要な操作を簡素化するための、メディアコンテンツの撮影方法、装置、デバイス、記憶媒体およびプログラムを提供する。

【課題を解決するための手段】**【0006】**

40

本開示の実施例は、

撮影ページに対するページ表示操作に応答して、撮影ページを表示し、第1メディアコンテンツに関連するプロンプト情報を前記撮影ページに表示するステップであって、前記第1メディアコンテンツは、ユーザーがプリセットフィードバック操作を実行するメディアコンテンツであり、前記プロンプト情報は、ターゲット特殊効果のターゲットプレビュー画面を表示するために使用され、前記ターゲット特殊効果は、前記第1メディアコンテンツで使用される撮影の特殊効果である、ステップと、

前記ターゲット特殊効果を使用して撮影するためのトリガー操作に応答して、前記ターゲット特殊効果を使用して第2メディアコンテンツを撮影するステップと、を含む、メディアコンテンツの撮影方法を提供する。

50

【 0 0 0 7 】

本開示の実施例は、

撮影ページに対するページ表示操作に応答して、撮影ページを表示し、第 1 メディアコンテンツに関連するプロンプト情報を前記撮影ページに表示するように構成されるページ表示モジュールであって、前記第 1 メディアコンテンツは、ユーザーがプリセットフィードバック操作を実行するメディアコンテンツであり、前記プロンプト情報は、ターゲット特殊効果のターゲットプレビュー画面を表示するために使用され、前記ターゲット特殊効果は、前記第 1 メディアコンテンツで使用される撮影の特殊効果である、ページ表示モジュールと、

前記ターゲット特殊効果を使用して撮影するためのトリガー操作に応答して、前記ターゲット特殊効果を使用して第 2 メディアコンテンツを撮影するように構成される撮影モジュールと、を含む、メディアコンテンツの撮影装置をさらに提供する。

10

【 0 0 0 8 】

本開示の実施例は、

1 つ以上のプロセッサと、

1 つ以上のプログラムを記憶するように構成されるメモリと、を含み、前記 1 つ以上のプログラムが前記 1 つ以上のプロセッサによって実行されるとき、前記 1 つ以上のプロセッサは、本開示の実施例に記載のメディアコンテンツの撮影方法を実行する、電子デバイスをさらに提供する。

【 0 0 0 9 】

本開示の実施例は、コンピュータプログラムが記憶されたコンピュータ読み取り可能な記憶媒体をさらに提供し、当該コンピュータプログラムがプロセッサによって実行されるときに、本開示の実施例に記載のメディアコンテンツの撮影方法が実現される。

20

【 0 0 1 0 】

本開示の実施例は、コンピュータプログラムをさらに提供し、前記コンピュータプログラムがコンピュータによって実行されるときに、前記コンピュータに本開示の実施例に記載のメディアコンテンツの撮影方法を実行させる。

【 図面の簡単な説明 】

【 0 0 1 1 】

すべての図面において、同じまたは類似の参照番号は、同じまたは類似の要素を指す。図面は概略的なものであり、素子および要素は必ずしも縮尺どおりに描かれていないことを理解されたい。

30

【 0 0 1 2 】

【 図 1 】 本開示の実施例によって提供されるメディアコンテンツの撮影方法の概略的なフローチャートである。

【 図 2 】 本開示の実施例によって提供されるプロンプト情報を表示する概略図である。

【 図 3 】 本開示の実施例によって提供される別のプロンプト情報を表示する概略図である。

【 図 4 】 本開示の実施例によって提供される撮影ページを表示する概略図である。

【 図 5 】 本開示の実施例によって提供される別のメディアコンテンツの撮影方法の概略的なフローチャートである。

40

【 図 6 】 本開示の実施例によって提供されるさらに別のプロンプト情報を表示する概略図である。

【 図 7 】 本開示の実施例によって提供されるメディアコンテンツの撮影装置の構造ブロック図である。

【 図 8 】 本開示の実施例によって提供される電子デバイスの概略構造図である。

【 発明を実施するための形態 】

【 0 0 1 3 】

以下、本開示の実施例について、図面を参照しながら説明する。本開示のいくつかの実施例が図面に示されているが、理解できるように、本開示は、複数の形態で実現することができ、本明細書に記載の実施例に限定されるものとして解釈されるべきではなく、むしろ

50

る、これらの実施例は、本開示をより徹底的かつ完全に理解するために提供されるものである。理解できるように、本開示の図面および実施例は、例示のみを目的としており、本開示の保護範囲を限定するものではない。

【0014】

理解できるように、本開示の方法の実施形態において説明される複数のステップは、異なる順序で、および/または並行して実行可能である。また、方法の実施形態は、追加のステップを含んでもよく、および/または、図示されたステップの実行を省略してもよい。本開示の範囲は、この面に関して限定されない。

【0015】

本明細書で使用される用語の「含む」およびその変形は、「含むが、それらに限らない」という開放的な包含である。用語の「に基づく」は「少なくとも部分的に基づく」である。用語の「1つの実施例」は、「少なくとも1つの実施例」を表し、用語の「別の実施例」は、「少なくとも1つの別の実施例」を表し、用語の「いくつかの実施例」は、「少なくともいくつかの実施例」を表す。他の用語の関連定義は、以下の記述において与えられる。

【0016】

なお、本開示で言及される「第1」、「第2」などの概念は、異なる装置、モジュールまたはユニットを区別するためにのみ使用され、これらの装置、モジュールまたはユニットによって実行される機能の順序または相互依存関係を制限するために使用されるものではない。

【0017】

なお、本開示で言及される「1つ」、「複数」の修飾は、例示的なものであり、限定的なものではなく、当業者であれば、文脈が明確に別段の指示をしない限り、「1つまたは複数」として理解されるべきである。

【0018】

本開示の実施形態における複数の装置間でインタラクトされるメッセージまたは情報の名称は、例示のみを目的としており、これらのメッセージまたは情報の範囲を限定するために使用されるものではない。

【0019】

理解できるように、本開示の複数の実施例で開示される技術的解決手段を使用する前に、本開示に係る個人情報の種類、利用範囲、利用シーンなどを、関係法令に従い適切な手段によりユーザーに通知し、ユーザー本人の同意を得るべきである。

【0020】

例えば、ユーザーからのアクティブなリクエストを受信すると、それに応答して、ユーザーに要求された操作にはユーザーの個人情報の取得と使用が必要であることを明確に通知するプロンプトメッセージを、ユーザーに送信する。したがって、ユーザーは、プロンプトメッセージに基づいて、本開示の技術的解決手段の動作を実行する電子デバイス、アプリケーション、サーバー、または記憶媒体などのソフトウェアまたはハードウェアに個人情報を提供するか否かを自分で決めることができる。

【0021】

選択可能であるが限定されない実装形態として、ユーザーのアクティブな要求を受信すると、それに応答して、プロンプトメッセージをユーザーに送信する方法は、例えば、ポップアップウィンドウであってもよく、ポップアップウィンドウにおいて、テキストでプロンプトメッセージを示すことができる。また、ポップアップウィンドウには、個人情報を電子デバイスに提供することについて、ユーザーが「同意する」または「同意しない」を選択するための選択コントロールも含むことができる。

【0022】

理解できるように、ユーザーに通知し、ユーザーの許可を得る上記のプロセスは、単なる例示であり、本開示の実装形態を限定するものではなく、関連する法令を満たす他の方法も本開示の実装形態に適用できる。

10

20

30

40

50

【 0 0 2 3 】

図 1 は、本開示の実施例によって提供されるメディアコンテンツの撮影方法の概略的なフローチャートである。当該方法は、メディアコンテンツの撮影装置によって実行することができ、当該装置はソフトウェアおよび/またはハードウェアによって実現することができる。本開示の実施例によって提供されるメディアコンテンツの撮影方法は、プリセットフィードバック操作を実行したメディアコンテンツで使用される、撮影の特殊効果を伴う撮影に適しており、例えば、お気に入り追加したビデオで使用される撮影の特殊効果を伴う撮影に適している。図 1 に示すように、本実施例によって提供されるメディアコンテンツの撮影方法は、以下のステップを含む。

10

【 0 0 2 4 】

S 1 0 1：撮影ページに対するページ表示操作に応答して、撮影ページを表示し、第 1 メディアコンテンツに関連するプロンプト情報を前記撮影ページに表示するステップであって、前記第 1 メディアコンテンツは、ユーザーがプリセットフィードバック操作を実行するメディアコンテンツであり、前記プロンプト情報は、ターゲット特殊効果のターゲットプレビュー画面を表示するために使用され、前記ターゲット特殊効果は、前記第 1 メディアコンテンツで使用される撮影の特殊効果である。

【 0 0 2 5 】

撮影ページに対するページ表示操作は、例えば、撮影ページを表示するためのトリガー操作として理解でき、例示的に、他のページ（例えば、メディアコンテンツ表示ページ）から撮影ページに切り替えるためのトリガー操作であってもよく、または撮影ページがアプリケーションソフトのホームページである場合、当該ページ表示操作は、当該アプリケーションソフトを起動するためのトリガー操作であってもよい。

20

【 0 0 2 6 】

第 1 メディアコンテンツは、撮影時に撮影の特殊効果を使用し、かつユーザーがプリセットフィードバック操作を実行するメディアコンテンツであってもよい。当該メディアコンテンツは、例えば、ビデオまたは写真などであってもよい。当該プリセットフィードバック操作は、お気に入り操作、いいねボタンを押す操作、コメント操作または共有操作などを含むことができる。これに対応して、第 1 メディアコンテンツは、ユーザーがお気に入り追加したり、いいねしたり、コメントしたり、または転送したりしたメディアコンテンツであってもよい。

30

【 0 0 2 7 】

本実施例において、第 1 メディアコンテンツは、撮影時に撮影の特殊効果を使用し、かつユーザーがプリセットフィードバック操作を実行する任意のメディアコンテンツであってもよく、例示的に、第 1 メディアコンテンツは、ユーザーがプリセットフィードバック操作を実行するメディアコンテンツのうちの、撮影時に特殊効果を使用し、かつ設定された条件を満たすメディアコンテンツであってもよく、プロンプト情報を頻繁に表示することでユーザーの邪魔をすることを避ける。当該プリセット条件は、必要に応じて設定することができる。例えば、プリセット条件は、ユーザーが過去 n ($n > 0$) 日間にプリセットフィードバック操作を実行したメディアコンテンツであり、かつ当該メディアコンテンツで使用される特殊効果を撮影ページでプレビューしていない（即ち、当該メディアコンテンツで使用される特殊効果のプレビュー画面をまだ撮影ページで閲覧することをしていない）と設定することができる。お気に入り操作としてのプリセットフィードバック操作を例にとると、第 1 メディアコンテンツは、ユーザーが過去 n 日間にお気に入り追加したメディアコンテンツのうちの、撮影時に撮影の特殊効果を使用したか、ユーザーが当該撮影の特殊効果を撮影ページでまだプレビューしていないコンテンツであってもよい。

40

【 0 0 2 8 】

ターゲット特殊効果は、第 1 メディアコンテンツで使用される撮影の特殊効果（例えば、撮影小道具）、即ち、第 1 メディアコンテンツを撮影する際に使用される撮影の特殊効果として理解されてもよい。これに対応して、ターゲットプレビュー画面は、ターゲット

50

特殊効果のプレビュー画面として理解されてもよく、ターゲット特殊効果を使用して、カメラによってリアルタイムで収集されたオリジナルのプレビュー画面を処理して得られる画面であってもよい。

【 0 0 2 9 】

撮影ページに対するページ表示操作を受信すると、関連するプロンプト情報を表示する必要がある第1メディアコンテンツがあるか否かを判断することができ、関連するプロンプト情報を表示する必要がある第1メディアコンテンツがある場合、撮影ページを表示し、図2に示すように、第1メディアコンテンツに関連するプロンプト情報を撮影ページ内に表示し（図2には、第1メディアコンテンツのメディアコンテンツ情報および/またはターゲット特殊効果の特殊効果情報を含むプロンプト情報が例として挙げられる）、例えば、ターゲット特殊効果のターゲットプレビュー画面を直接表示するか、または、プロンプト情報を通じてターゲット特殊効果のターゲットプレビュー画面を表示するようにトリガーし、それにより、ユーザーが第1メディアコンテンツで使用されているターゲット特殊効果のターゲットプレビュー画面を閲覧しやすくなり、関連するプロンプト情報を表示する必要がある第1メディアコンテンツがない場合、撮影ページを表示し、第1メディアコンテンツに関連するプロンプト情報を表示しない。

10

【 0 0 3 0 】

メディアコンテンツがビデオであり、プリセットフィードバック操作がお気に入り操作であり、 $n = 2$ を例にとると、関連するプロンプト情報を表示する必要がある第1メディアコンテンツがあるか否かを判断するときに、ユーザーが過去2日間に、撮影の特殊効果を使用して撮影されたビデオを、お気に入りに追加したか否かが判断でき、お気に入りに追加した場合、ユーザーが過去2日間にお気に入りに追加した、撮影の特殊効果を使用して撮影されたビデオにおいて、ユーザーが、ビデオで使用された撮影特殊効果を撮影ページでまだプレビューしていないビデオがあるか否かを判断し、ある場合、決定された、当該ユーザーがビデオで使用される撮影の特殊効果を撮影ページでまだプレビューしていないビデオを、第1メディアコンテンツとして使用し、関連するプロンプト情報を表示する必要がある第1メディアコンテンツがあると決定する。これに対応して、ユーザーがビデオで使用される撮影の特殊効果を撮影ページでまだプレビューしていないビデオがない場合、またはユーザーが過去2日間に、撮影特殊効果を使用して撮影されたビデオをお気に入りに追加していなかったと判断した場合、関連するプロンプト情報を表示する必要がある第1メディアコンテンツがないと決定する。

20

30

【 0 0 3 1 】

ユーザーがプリセットフィードバック操作を実行する第1メディアコンテンツは、ユーザーの許可と同意を取得したことを前提として、関連法令に従って適切な方法で決定され、当該第1メディアコンテンツは、当該ユーザーが撮影ページに切り替えたときに、第1メディアコンテンツに関連するプロンプト情報を、当該ユーザーに表示するためにのみ使用され、本開示の実施例と無関係な目的には使用されないと決定する。お気に入り操作としてのプリセットフィードバック操作を例にとると、ユーザーが自分のメディアコンテンツお気に入りを公開に設定した場合にのみ（即ち、当該ユーザーのメディアコンテンツお気に入りについて、すべてのユーザーが閲覧可能である場合にのみ）、メディアコンテンツお気に入り内の第1メディアコンテンツに関連するプロンプト情報を、当該ユーザーの撮影ページに表示し、お気に入りに追加した第1メディアコンテンツ内の撮影の特殊効果を使用して撮影するようにユーザーに提示する。

40

【 0 0 3 2 】

本実施例において、ユーザーが撮影ページに入ると、撮影ページには、ユーザーがプリセットフィードバック操作を実行した第1メディアコンテンツに関連する、プロンプト情報が表示されているので、ユーザーは、当該プロンプト情報を通じて、第1メディアコンテンツで使用されるターゲット特殊効果のターゲットプレビュー画面をすばやく閲覧することができ、ターゲットプレビュー画面を閲覧するために、特殊効果パネルコントロールをトリガーして、特殊効果パネルに入り、ターゲット特殊効果を検索してそれをトリガー

50

する必要がなく、これにより、プリセットフィードバック操作（例えば、お気に入り操作）が行われた第1メディアコンテンツで使用される、ターゲット特殊効果の撮影効果を閲覧することに必要な操作を簡素化することができ、さらに、ユーザーがターゲットの特殊効果を使用して撮影することに必要な操作を簡素化させ、ユーザーエクスペリエンスを向上させる。また、撮影ページにプロンプト情報が表示され、当該プロンプト情報を通じて、プリセットフィードバック操作が行われた第1メディアコンテンツ内のターゲット特殊効果を撮影に使用するように、ユーザーに提示し、これにより、メディアコンテンツをお気に入りに追加した後、ユーザーが撮影するときに、メディアコンテンツ内の特殊効果を使い忘れて撮影してしまう状況を削減し、ユーザーの撮影および投稿への熱意を高めることができる。

10

【0033】

本実施例において、設定された条件を満たす第1メディアコンテンツが1つだけある場合、当該第1メディアコンテンツに関連するプロンプト情報を、撮影ページに直接表示することができる。設定された条件を満たす第1メディアコンテンツが複数ある場合、条件を満たす少なくとも2つの第1メディアコンテンツに関連するプロンプト情報を、撮影ページに表示することができ、または、条件を満たす1つの第1メディアコンテンツに関連するプロンプト情報を、撮影ページに表示することができ、例えば、ユーザーが最近プリセットフィードバック操作を実行した第1メディアコンテンツに関連するプロンプト情報、または最も人気のある第1メディアコンテンツに関連するプロンプト情報などを表示し、ユーザーの切り替え操作に基づいて撮影ページに表示されるプロンプト情報を切り替えることができる。選択可能に、第1メディアコンテンツに関連するプロンプト情報を前記撮影ページに表示した後、切り替え操作に応答して、前記撮影ページに表示されるプロンプト情報を切り替えるステップを含み、異なるプロンプト情報は、異なる第1メディアコンテンツに関連付けられる。

20

【0034】

例示的に、図3に示すように、（図3では、一例として、プロンプト情報には第1メディアコンテンツの内容が含まれる）、設定された条件を満たす第1メディアコンテンツが複数ある場合、第1メディアコンテンツに関連するプロンプト情報を撮影ページに表示することができ、また、切り替えコントロール30を表示することができ、したがって、ユーザーが他の第1メディアコンテンツに関連するプロンプト情報を閲覧したい場合、当該切り替えコントロール30をトリガーすることができる。これに対応して、電子デバイスは、ユーザーが当該切り替えコントロール30をトリガーしたことを検出すると、切り替え操作を受信したと判断し、当該切り替え操作に応答して、撮影ページに現在表示されている、現在の第1メディアコンテンツ（例えば、第1メディアコンテンツA）に関連するプロンプト情報を、他の第1メディアコンテンツ（例えば、第1メディアコンテンツB）に関連するプロンプト情報に切り替え、これにより、ユーザーが異なる第1メディアコンテンツに関連するプロンプト情報を閲覧しやすくなり、その後、第1メディアコンテンツで使用される撮影の特殊効果を撮影に使用するか否かを迅速に決定する。

30

【0035】

S102：前記ターゲット特殊効果を使用して撮影するためのトリガー操作に応答して、前記ターゲット特殊効果を使用して第2メディアコンテンツを撮影する。

40

【0036】

ターゲット特殊効果を用いて撮影するためのトリガー操作は、ターゲット特殊効果を使用して新たなメディアコンテンツを撮影するためのトリガー操作として理解でき、例えば、ターゲット特殊効果を含むターゲットプレビュー画面が撮影ページに表示されているとき、撮影ページの撮影コントロールをトリガーする操作として理解できる。第2メディアコンテンツは、新しいビデオや新しい写真などの、当該トリガー操作を通じてユーザーによって撮影された新しいメディアコンテンツであってもよい。

【0037】

例示的に、図4に示すように、電子デバイスは、自動的に、またはプロンプト情報に対

50

するユーザーのトリガー操作に基づいて、ターゲット特殊効果のターゲットプレビュー画面を撮影ページ内に表示することができる。ユーザーは、ターゲット特殊効果を使用して撮影したい場合、撮影ページに表示される撮影コントロール40をトリガーすることができる。これに対応して、電子デバイスは、ユーザーが当該撮影コントロール40をトリガーしたことを検出すると、当該ターゲット特殊効果を使用して撮影し、第2メディアコンテンツを取得することができる。

【0038】

本実施例において、撮影の特殊効果を使用して撮影されたメディアコンテンツに対してプリセットフィードバック操作を実行する場合、ユーザーは、当該メディアコンテンツで使用される撮影の特殊効果をお気に入り追加してもよく、お気に入り追加しなくてもよい。本実施例は、これを限定しない。

10

【0039】

一実施形態において、プリセットフィードバック操作がお気に入り操作である場合、撮影の特殊効果を使用して撮影されたメディアコンテンツをお気に入り追加するとき、ユーザーは、当該メディアコンテンツで使用される撮影の特殊効果をお気に入り追加せずに、当該メディアコンテンツのみをお気に入り追加することができ、当該メディアコンテンツと当該メディアコンテンツで使用される撮影の特殊効果をお気に入り追加することもでき、ユーザーは、当該メディアコンテンツで使用される撮影の特殊効果をお気に入りに追加するために、当該撮影の特殊効果をお気に入り操作（例えば、当該撮影の特殊効果の詳細ページに切り替えて、詳細ページのお気に入りコントロールをトリガーする）を再度実行しなければならないことを避け、メディアコンテンツおよびメディアコンテンツで使用される撮影の特殊効果をお気に入りに追加するために必要なユーザーの操作を簡素化する。選択可能に、前記プリセットフィードバック操作は、お気に入り操作を含む。本実施例によって提供されるメディアコンテンツの撮影方法は、第1メディアコンテンツをお気に入り操作にตอบสนองして、前記第1メディアコンテンツをお気に入りに追加するか、または前記第1メディアコンテンツおよびターゲット特殊効果をお気に入りに追加するステップをさらに含む。メディアコンテンツ（例えば、第1メディアコンテンツ）をお気に入りに追加するとき、当該メディアコンテンツをユーザーのメディアコンテンツお気に入りに追加し、撮影の特殊効果（例えば、ターゲット特殊効果）をお気に入りに追加するとき、当該撮影の特殊効果を、ユーザーの特殊効果お気に入りリストに追加することができる。

20

30

【0040】

本実施例によって提供されるメディアコンテンツの撮影方法は、撮影ページに対するページ表示操作にตอบสนองして、撮影ページを表示し、第1メディアコンテンツに関連するプロンプト情報を前記撮影ページに表示し、当該第1メディアコンテンツは、ユーザーがプリセットフィードバック操作を実行するメディアコンテンツであり、該プロンプト情報は、ターゲット特殊効果のターゲットプレビュー画面を表示するために使用され、当該ターゲット特殊効果は、当該第1メディアコンテンツで使用される撮影の特殊効果であり、当該ターゲット特殊効果を使用して撮影するためのトリガー操作にตอบสนองして、当該ターゲット特殊効果を使用して第2メディアコンテンツを撮影する。本実施例は、上記の技術的解決手段を使用して、ユーザーがプリセットフィードバック操作を実行するメディアコンテンツで使用される、撮影の特殊効果のプレビュー画面を表示するためのプロンプト情報を、撮影ページに表示し、プリセットフィードバック操作が行われたメディアコンテンツで使用される撮影の特殊効果を閲覧するときに必要な操作を簡素化し、さらに、ユーザーが当該撮影特殊効果を利用して撮影する際に必要な操作を簡素化し、ユーザーエクスペリエンスを向上させる。

40

【0041】

図5は、本開示の実施例によって提供される別のメディアコンテンツの撮影方法の概略的なフローチャートである。本実施例における解決手段は、上記の実施例の1つ以上の任意の解決手段と組み合わせることができる。選択可能に、第1メディアコンテンツに関連するプロンプト情報を前記撮影ページに表示するステップは、プロンプトウィンドウを前

50

記撮影ページに表示し、第1メディアコンテンツのメディアコンテンツ情報および/またはターゲット特殊効果の特殊効果情報を表示するか、または、プロンプトウィンドウを前記撮影ページに表示し、第1メディアコンテンツを前記プロンプトウィンドウに表示するステップを含む。

【0042】

選択可能に、第1メディアコンテンツに関連するプロンプト情報を前記撮影ページに表示した後、前記プロンプトウィンドウに付加する特殊効果プレビュー操作に応答して、前記ターゲット特殊効果のターゲットプレビュー画面を前記撮影ページに表示するステップをさらに含む。

【0043】

選択可能に、第1メディアコンテンツに関連するプロンプト情報を前記撮影ページに表示するステップは、前記ターゲット特殊効果のターゲットプレビュー画面を前記撮影ページに表示するステップを含む。

【0044】

図5に示すように、本実施例によって提供されるメディアコンテンツの撮影方法は、以下のステップを含むことができる。

【0045】

S201: 撮影ページに対するページ表示操作に応答して、撮影ページを表示し、S202、S203、またはS205を実行する。

【0046】

S202: プロンプトウィンドウを前記撮影ページに表示し、第1メディアコンテンツのメディアコンテンツ情報および/またはターゲット特殊効果の特殊効果情報を前記プロンプトウィンドウに表示し、S204を実行し、前記第1メディアコンテンツは、ユーザーがプリセットフィードバック操作を実行するメディアコンテンツであり、前記ターゲット特殊効果は、前記第1メディアコンテンツで使用される撮影の特殊効果である。

【0047】

本実施例において、プロンプト情報は、第1メディアコンテンツのビデオ情報および/または第1メディアコンテンツで使用されるターゲット特殊効果の特殊効果情報を含むことができる。即ち、第1メディアコンテンツのメディアコンテンツ情報および/または第1メディアコンテンツで使用されるターゲット特殊効果の特殊効果情報を表示することにより、第1メディアコンテンツで使用されるターゲット特殊効果を使用して撮影するようにユーザーに提示する。

【0048】

第1メディアコンテンツのメディアコンテンツ情報は、例えば、第1メディアコンテンツのカバーおよび/または名称を含むことができる。ターゲット特殊効果の特殊効果情報は、例えば、ターゲット特殊効果の特殊効果アイコンおよび/または特殊効果名を含むことができる。

【0049】

例示的に、図2に示すように、電子デバイスは、撮影ページに対するページ表示操作を受信すると、撮影ページを表示し、プロンプトウィンドウ20を当該撮影ページに表示し、第1メディアコンテンツのメディアコンテンツ情報および/またはターゲット特殊効果の特殊効果情報を当該プロンプトウィンドウ20に表示する。

【0050】

S203: プロンプトウィンドウを前記撮影ページに表示し、第1メディアコンテンツを前記プロンプトウィンドウに表示する。

【0051】

本実施例において、プロンプト情報は、第1メディアコンテンツの内容も含むことができ、即ち、第1メディアコンテンツを表示することによって、第1メディアコンテンツで使用されるターゲット特殊効果を使用して撮影するようにユーザーに提示することができる。

10

20

30

40

50

【 0 0 5 2 】

例示的に、図 3 に示すように、電子デバイスは、撮影ページに対するページ表示操作を受信した場合、撮影ページを表示し、プロンプトウィンドウ 20 を当該撮影ページに表示し、第 1 メディアコンテンツを当該プロンプトウィンドウ 20 に表示し、例えば、第 1 メディアコンテンツがビデオである場合、第 1 メディアコンテンツを当該プロンプトウィンドウ 20 内で再生して、第 1 メディアコンテンツで使用するターゲット特殊効果をユーザーに示すことができる。

【 0 0 5 3 】

選択可能な一実施形態において、設定された条件を満たす第 1 メディアコンテンツが 1 つだけある場合、第 1 メディアコンテンツのメディアコンテンツ情報と当該第 1 メディアコンテンツで使用するターゲット特殊効果の特殊効果情報をプロンプトウィンドウ 20 に表示できる。設定された条件を満たす第 1 メディアコンテンツが複数ある場合、第 1 メディアコンテンツと切り替えコントロールをプロンプトウィンドウ 20 に表示することができ、これにより、ユーザーが、プロンプトウィンドウ 20 に表示される第 1 メディアコンテンツを通じて、異なる第 1 メディアコンテンツで使用する撮影特殊効果の撮影効果を直観的に確認できる。

【 0 0 5 4 】

S 2 0 4 : 前記プロンプトウィンドウに付加される特殊効果プレビュー操作を受信する。

【 0 0 5 5 】

特殊効果プレビュー操作は、ターゲット特殊効果のターゲットプレビュー画面を閲覧する操作、即ち、ターゲット特殊効果の撮影効果をプレビューする操作、例えば、プロンプトウィンドウ 20 に表示されるプレビューコントロールをトリガーする操作として理解できる。

【 0 0 5 6 】

本実施例において、電子デバイスが第 1 メディアコンテンツで使用するターゲット特殊効果のターゲットプレビュー画面を撮影ページに直接表示しない場合、ユーザーは、特殊効果プレビュー操作をプロンプトウィンドウ 20 内に実行することによって、ターゲット特殊効果のターゲットプレビュー画面を確認することができる。

【 0 0 5 7 】

例示的に、図 2 および図 3 に示すように、電子デバイスがプロンプトウィンドウ 20 を表示するとき、プレビューコントロール 21 をプロンプトウィンドウ 20 内に表示することができるため、ユーザーがターゲット特殊効果のターゲットプレビュー画面を閲覧したい場合、当該プレビューコントロール 21 をトリガーすることができる。これに対応して、ユーザーが当該プレビューコントロール 21 をトリガーしたことを検出すると、電子デバイスは、特殊効果プレビュー操作を受信したと判断し、当該特殊効果プレビュー操作に応答して、プロンプトウィンドウ 20 の表示をキャンセルし、S 2 0 5 を実行して、ターゲット特殊効果の撮影効果をユーザーに示す。

【 0 0 5 8 】

S 2 0 5 : 前記ターゲット特殊効果のターゲットプレビュー画面を前記撮影ページに表示する。

【 0 0 5 9 】

本実施例において、ページ表示操作に応答して撮影ページを表示するとき、図 6 に示すように、電子デバイスは、第 1 メディアコンテンツで使用するターゲット特殊効果のターゲットプレビュー画面を、撮影ページ内に直接表示しなくてもよく、ユーザーの特殊効果プレビュー操作を受信した時、ターゲット特殊効果のターゲットプレビュー画面を撮影ページに表示し、第 1 メディアコンテンツで使用するターゲット特殊効果のターゲットプレビュー画面を撮影ページに直接表示することもでき、ターゲットプレビュー画面を表示することにより、第 1 メディアコンテンツで使用するターゲット特殊効果を使用して撮影するようユーザーに提示する。

【 0 0 6 0 】

一実施形態において、前記ターゲット特殊効果のターゲットプレビュー画面を前記撮影ページに表示するステップは、前記ターゲット特殊効果のターゲットプレビュー画面を前記撮影ページに表示するステップと、前記第1メディアコンテンツにおけるターゲットバックグラウンドミュージックをバックグラウンドミュージックとして追加するか、および/または前記撮影ページに表示される特殊効果パネルコントロールのコントロール名を、前記ターゲット特殊効果の特殊効果名に切り替えて表示するステップとを含み、前記特殊効果パネルコントロールは、特殊効果パネルをトリガーして表示するために使用される。

【0061】

本実施例において、図4および図6に示すように、第1メディアコンテンツで使用されるターゲット特殊効果のターゲットプレビュー画面を表示するときに、第1メディアコンテンツで使用されるバックグラウンドミュージック（即ち、ターゲットバックグラウンドミュージック）を、ターゲットプレビュー画面のバックグラウンドミュージックとして追加することもでき、当該ターゲットバックグラウンドミュージックのミュージック情報41を撮影ページに表示することができる。これにより、ユーザーは、ターゲット特殊効果を使用して撮影するためのトリガー操作を行うことにより、追加のバックグラウンドミュージックを選択または追加せずに、第1メディアコンテンツで使用される当該ターゲットバックグラウンドミュージックを、バックグラウンドミュージックとする第2メディアコンテンツを撮影して得ることができる。

10

【0062】

また、引き続き図4および図6を参照すると、第1メディアコンテンツで使用されるターゲット特殊効果のターゲットプレビュー画面を表示するとき、撮影ページに表示される特殊効果パネルコントロールのコントロール名を、当該ターゲット特殊効果の特殊効果名42に切り替えて表示することができ、撮影ページに表示される特殊効果パネルコントロールのコントロールアイコンを、ターゲット特殊効果の特殊効果アイコン43に切り替えて表示することができ、これにより、ユーザーは、現在表示されているターゲットの特殊効果を素早く決定することができる。

20

【0063】

本実施例において、ターゲットプレビュー画面を表示する際のみ、特殊効果パネルコントロールのコントロール名をターゲット特殊効果の特殊効果名に切り替えて表示するか、および/または特殊効果パネルコントロールのコントロールアイコンを、ターゲット特殊効果の特殊効果アイコンに切り替えて表示する。ただし、特殊効果パネルコントロールは、実際には依然として特殊効果パネルコントロールであり、ユーザーは、依然として当該特殊効果パネルコントロールをトリガーして、電子デバイスに特殊効果パネルを表示させ、特殊効果パネルにおける複数の撮影の特殊効果（ターゲット特殊効果を含む）を閲覧することができる。これに対応して、この場合、ユーザーが当該特殊効果パネルコントロールをトリガーしたと検出すると、電子デバイスは、特殊効果パネルを表示し、ターゲット特殊効果を見つけることができ、これにより、ユーザーが当該ターゲット特殊効果を閲覧するかまたはお気に入り追加できる。

30

【0064】

一実施形態において、前記ターゲット特殊効果のターゲットプレビュー画面を前記撮影ページに表示した後、前記ターゲット特殊効果のプレビューキャンセル操作にตอบสนองして、前記ターゲットプレビュー画面の表示をキャンセルするステップをさらに含む。

40

【0065】

プレビューキャンセル操作は、撮影ページに表示されるプレビューキャンセルコントロールをトリガーする操作など、ターゲット特殊効果のターゲットプレビュー画面の表示操作をキャンセルするように電子デバイスに指示するものとして理解できる。

【0066】

上記実施形態において、図6に示すように、撮影ページに対するページ表示操作および/または特殊効果プレビュー操作にตอบสนองして、ターゲット特殊効果のターゲットプレビュー画面を撮影ページに表示するとき、プレビューキャンセルコントロール60を撮影ペー

50

ジに表示することができ、これにより、ユーザーは、ターゲットプレビュー画面の閲覧をキャンセルしたい場合に、当該プレビューキャンセルコントロール60をトリガーすることができる。これに対応して、電子デバイスは、ユーザーが当該プレビューキャンセルコントロール60をトリガーしたことを検出すると、プレビューキャンセル操作を受信したと判断し、当該プレビューキャンセル操作に応答して、撮影ページに表示されているターゲットプレビュー画面を、カメラで収集したオリジナルのプレビュー画面に切り替え、撮影ページに追加された第1メディアコンテンツのターゲットバックグラウンドミュージックをキャンセルするか、および/または特殊効果パネルコントロールのコントロール名を特殊効果パネルコントロール自体のコントロール名に戻すことができ、特殊効果パネルコントロールのコントロールアイコンを、ターゲット特殊効果の特殊効果名から、特殊効果パネルコントロール自体のコントロールアイコンに戻す。

10

【0067】

また、設定された条件を満たす第1メディアコンテンツが複数ある場合、ページ表示操作に応答して撮影ページを表示して、第1メディアコンテンツで使用されるターゲット特殊効果のターゲットプレビュー画面を、撮影ページに表示するとき、切り替えコントロールをさらに表示でき、これにより、ユーザーは、当該切り替えコントロールをトリガーすることによって、異なる第1メディアコンテンツで使用される撮影の特殊効果のプレビュー画面を閲覧できる。

【0068】

S206：前記ターゲット特殊効果を使用して撮影するためのトリガー操作に応答して、前記ターゲット特殊効果を使用して第2メディアコンテンツを撮影する。

20

【0069】

本実施例によって提供されるメディアコンテンツの撮影方法は、撮影ページを表示するときに、ユーザーがプリセットフィードバック操作を実行したメディアコンテンツで使用される撮影の特殊効果のプレビュー効果を、異なる方法で表示することにより、ユーザーが、当該メディアコンテンツで使用される撮影の特殊効果を撮影に使用するか否かを迅速に判断でき、ユーザーエクスペリエンスをさらに向上させる。

【0070】

図7は、本開示の実施例によって提供されるメディアコンテンツの撮影装置の構造ブロック図である。当該装置は、ソフトウェアおよび/またはハードウェアによって実現することができ、電子デバイス内に配置することができ、例えば、携帯電話またはタブレットコンピュータに配置することができ、メディアコンテンツの撮影方法を実行することにより、ユーザーがプリセットフィードバック操作を実行したメディアコンテンツで使用される、撮影の特殊効果を使用して撮影することができる。図7に示すように、本実施例によって提供されるメディアコンテンツの撮影装置は、撮影ページに対するページ表示操作に応答して、撮影ページを表示し、第1メディアコンテンツに関連するプロンプト情報を前記撮影ページに表示するように構成されるページ表示モジュール701であって、前記第1メディアコンテンツは、ユーザーがプリセットフィードバック操作を実行するメディアコンテンツであり、前記プロンプト情報は、ターゲット特殊効果のターゲットプレビュー画面を表示するために使用され、前記ターゲット特殊効果は、前記第1メディアコンテンツで使用される撮影の特殊効果である、ページ表示モジュールと、前記ターゲット特殊効果を使用して撮影するためのトリガー操作に応答して、前記ターゲット特殊効果を使用して第2メディアコンテンツを撮影するように構成される撮影モジュール702とを含むことができる。

30

40

【0071】

本実施例によって提供されるメディアコンテンツの撮影装置は、ページ表示モジュールを介して、撮影ページに対するページ表示操作に応答して、撮影ページを表示し、第1メディアコンテンツに関連するプロンプト情報を撮影ページに表示し、当該第1メディアコンテンツは、ユーザーがプリセットフィードバック操作を実行するメディアコンテンツであり、当該プロンプト情報は、ターゲット特殊効果のターゲットプレビュー画面を表示す

50

るために使用され、当該ターゲット特殊効果は、当該第1メディアコンテンツで使用される撮影の特殊効果であり、撮影モジュールを介して、当該ターゲット特殊効果を使用して撮影するためのトリガー操作にตอบสนองして、当該ターゲット特殊効果を使用して第2メディアコンテンツを撮影する。本実施例は、上記の技術的解決手段を使用して、ユーザーがプリセットフィードバック操作を実行したメディアコンテンツで使用される撮影の特殊効果のプレビュー画面を表示するためのプロンプト情報を、撮影ページに表示し、プリセットフィードバック操作が行われたメディアコンテンツで使用される撮影の特殊効果を閲覧するときに必要な操作を簡素化し、さらに、ユーザーが当該撮影の特殊効果を利用して撮影する際に必要な操作を簡素化し、ユーザーエクスペリエンスを向上させる。

【0072】

10

上記の解決手段において、前記ページ表示モジュール701は、次の方法により、第1メディアコンテンツに関連するプロンプト情報を前記撮影ページに表示し、プロンプトウィンドウを前記撮影ページに表示し、第1メディアコンテンツのメディアコンテンツ情報および/またはターゲット特殊効果の特殊効果情報を表示するか、または、プロンプトウィンドウを前記撮影ページに表示し、第1メディアコンテンツを前記プロンプトウィンドウに表示するように構成される。

【0073】

本実施例によって提供されるメディアコンテンツの撮影装置は、第1メディアコンテンツに関連するプロンプト情報を前記撮影ページに表示した後、前記プロンプトウィンドウに付加される特殊効果プレビュー操作にตอบสนองして、前記ターゲット特殊効果のターゲットプレビュー画面を前記撮影ページに表示するように構成される特殊効果プレビューモジュールをさらに含むことができる。

20

【0074】

上記の解決手段において、前記ページ表示モジュール701は、次の方法により、第1メディアコンテンツに関連するプロンプト情報を前記撮影ページに表示し、前記ターゲット特殊効果のターゲットプレビュー画面を前記撮影ページに表示するように構成される。

【0075】

本実施例によって提供されるメディアコンテンツの撮影装置は、前記ターゲット特殊効果のターゲットプレビュー画面を前記撮影ページに表示した後、前記ターゲット特殊効果のプレビューキャンセル操作にตอบสนองして、前記ターゲットプレビュー画面の表示をキャンセルするように構成されるプレビューキャンセルモジュールをさらに含むことができる。

30

【0076】

上記の解決手段において、前記プレビューキャンセルモジュールは、次の方法により、前記ターゲット特殊効果のターゲットプレビュー画面を前記撮影ページに表示する。前記第1メディアコンテンツにおけるターゲットバックグラウンドミュージックをバックグラウンドミュージックとして追加するか、および/または前記撮影ページに表示される特殊効果パネルコントロールのコントロール名を、前記ターゲット特殊効果の特殊効果名に切り替えて表示し、前記特殊効果パネルコントロールは、特殊効果パネルをトリガーして表示するために使用される。

【0077】

40

本実施例によって提供されるメディアコンテンツの撮影装置は、第1メディアコンテンツに関連するプロンプト情報を前記撮影ページに表示した後、切り替え操作にตอบสนองして、前記撮影ページに表示されるプロンプト情報を切り替えるように構成される切り替えモジュールをさらに含むことができ、異なるプロンプト情報は、異なる第1メディアコンテンツに関連付けられる。

【0078】

上記の解決手段において、前記プリセットフィードバック操作は、お気に入り操作を含むことができる。本実施例によって提供されるメディアコンテンツの撮影装置は、第1メディアコンテンツをお気に入り操作にตอบสนองして、前記第1メディアコンテンツをお気に入りに追加するか、または前記第1メディアコンテンツおよびターゲット特殊効果をお気に

50

入りに追加するように構成されるお気に入りモジュールをさらに含むことができる。

【 0 0 7 9 】

本開示の実施形態によって提供されるメディアコンテンツの撮影装置は、本開示のいずれかの実施例によって提供されるメディアコンテンツの撮影方法を実行することができ、メディアコンテンツの撮影方法を実行するための対応する機能モジュール及び効果を有する。本実施例で詳細に説明されていない技術的詳細については、本開示のいずれかの実施例によって提供されるメディアコンテンツの撮影方法を参照することができる。

【 0 0 8 0 】

以下、図 8 を参照すると、図 8 は、本開示の実施例を実現するのに適した電子デバイス（例えば、例えば端末機器）800 の概略構造図が示されている。本開示の実施例における端末デバイスは、携帯電話、ノート型コンピュータ、デジタル放送受信機、パーソナルデジタルアシスタント（Personal Digital Assistant, PDA）、タブレットコンピュータ（Portable Android Device, PAD）、ポータブルマルチメディアプレーヤー（Portable Media Player, PMP）、車載端末（例えば、車載ナビゲーション端末）などのモバイル端末およびデジタルテレビ（Television, TV）、デスクトップコンピュータなどの固定端末を含むが、これらに限定されない。図 8 に示す電子デバイスは一例に過ぎず、本開示の実施例の機能および使用範囲を限定するものではない。

【 0 0 8 1 】

図 8 に示すように、電子デバイス 800 は、処理装置（例えば、中央処理装置、グラフィックスプロセッサなど）801 を含むことができ、処理装置 801 は、読み取り専用メモリ（Read-Only Memory, ROM）802 に記憶されるプログラム、または記憶装置 808 からランダムアクセスメモリ（Random Access Memory, RAM）803 にロードされたプログラムに基づいて、複数の適切な動作および処理を実行することができる。RAM 803 には、電子デバイス 800 の動作に必要な各種プログラムやデータも記憶される。処理装置 801、ROM 802、RAM 803 は、バス 804 を介して相互に接続されている。入力/出力（Input/Output, I/O）インターフェース 805 もバス 804 に接続されている。

【 0 0 8 2 】

一般に、次の装置は、I/O インターフェース 805 に接続することができる。例えば、タッチスクリーン、タッチパッド、キーボード、マウス、カメラ、マイク、加速度計、ジャイロスコープなどの入力装置 806 と、例えば、液晶ディスプレイ（Liquid Crystal Display, LCD）、スピーカ、バイブレータなどの出力装置 807 と、例えば、磁気テープやハードディスクなどの記憶装置 808 と、通信装置 809 とを含む。通信装置 809 は、電子デバイス 800 が他のデバイスと無線または有線で通信してデータを交換できるようにすることができる。図 8 は、様々な装置を備えた電子デバイス 800 を示すが、理解できるように、図示されたすべての装置を実施するかまたはそれらを備える必要がない。代わりに、より多くのまたはより少ない装置を実施するかまたはそれらを備えることができる。

【 0 0 8 3 】

本開示の実施例によれば、フローチャートを参照して上で説明されたプロセスは、コンピュータソフトウェアプログラムとして実現されてもよい。例えば、本開示の実施例は、非一時的なコンピュータ読み取り可能な媒体に組み込まれたコンピュータプログラムを含み、当該コンピュータプログラムは、フローチャートに示される方法を実行するためのプログラムコードを含む。このような実施例において、当該コンピュータプログラムは、通信装置 809 を介してネットワークからダウンロードおよびインストールされてもよく、または記憶装置 808 から、または ROM 802 からインストールされてもよい。当該コンピュータプログラムが処理装置 801 によって実行されると、本開示の実施例の方法で定義された上述の機能を実行する。

【 0 0 8 4 】

本開示において上述したコンピュータ読み取り可能な媒体は、コンピュータ読み取り可能な信号媒体、コンピュータ読み取り可能な記憶媒体、または上記２つの任意の組み合わせであってもよい。コンピュータ読み取り可能な記憶媒体は、例えば、電気、磁気、光学、電磁、赤外線、または半導体のシステム、装置またはデバイス、またはそれらの任意の組み合わせであってもよいが、これらに限定されない。コンピュータ読み取り可能な記憶媒体のより具体的な例としては、１つ以上のワイヤを備えた電気接続、ポータブルコンピュータディスク、ハードドライブ、RAM、ROM、消去可能なプログラマブル読み取り専用メモリ(Erasable Programmable Read-Only Memory, EPROM)またはフラッシュメモリ、光ファイバ、ポータブルコンパクトディスク読み取り専用メモリ(Compact Disc Read-Only Memory, CD-ROM)、光記憶デバイス、磁気記憶デバイス、または上記の任意の適切な組み合わせを含むが、これらに限定されない。本開示において、コンピュータ読み取り可能な媒体は、プログラムを含むかまたは記憶する任意の有形媒体であってもよく、当該プログラムは、命令実行システム、装置、またはデバイス、またはそれらの組み合わせによって使用することができる。本開示において、コンピュータ読み取り可能な信号媒体は、ベースバンドで伝播される、または搬送波の一部として伝播され、その中にコンピュータ読み取り可能なプログラムコードが組み込まれたデータ信号を含むことができる。このように伝播されるデータ信号は、電磁信号、光信号、または上記の任意の適切な組み合わせを含むがこれらに限定されない、多くの形式をとることができる。コンピュータ読み取り可能な信号媒体は、命令実行システム、装置、またはデバイス、またはそれらの組み合わせによって使用するためのプログラムを送信、伝播、または送信できるコンピュータ読み取り可能な記憶媒体以外の任意のコンピュータ読み取り可能な媒体であってもよい。コンピュータ読み取り可能な媒体上に組み込まれたプログラムコードは、ワイヤ、光ケーブル、無線周波数(Radio Frequency, RF)など、またはそれらの任意の適切な組み合わせを含むが、これらに限定されない任意の適切な媒体を使用して送信されてもよい。

【0085】

いくつかの実施例において、クライアントとサーバーは、ハイパーテキスト転送プロトコル(HyperText Transfer Protocol, HTTP)などの現在知られている、または将来開発される任意のネットワークプロトコルを使用して通信することができ、任意の形式または媒体のデジタルデータ通信(例えば、通信ネットワーク)相互接続を行うことができる。通信ネットワークの例には、ローカルエリアネットワーク(Local Area Network, LAN)、ワイドエリアネットワーク(Wide Area Network, WAN)、ワイドエリアネットワーク同士間に接続されるネットワーク(例えば、インターネット)、およびエンドツーエンドネットワーク(例えば、ad hocエンドツーエンドネットワーク)、および現在知られているネットワーク、または将来開発されるネットワークが含まれる。

【0086】

上記コンピュータ読み取り可能な媒体は、上記電子デバイスに含まれていてもよく、当該電子デバイスに組み込まれずに独立して存在していてもよい。

【0087】

上記のコンピュータ読み取り可能な媒体には、１つ以上のプログラムが含まれ、上記の１つ以上のプログラムが当該電子デバイスによって実行されるとき、電子デバイスは次のように実行する。撮影ページに対するページ表示操作に応答して、撮影ページを表示し、第１メディアコンテンツに関連するプロンプト情報を前記撮影ページに表示し、前記第１メディアコンテンツは、ユーザーがプリセットフィードバック操作を実行するメディアコンテンツであり、前記プロンプト情報は、ターゲット特殊効果のターゲットプレビュー画面を表示するために使用され、前記ターゲット特殊効果は、前記第１メディアコンテンツで使用される撮影の特殊効果であり、前記ターゲット特殊効果を使用して撮影するためのトリガー操作に応答して、前記ターゲット特殊効果を使用して第２メディアコンテンツを撮影する。

【 0 0 8 8 】

本開示の動作を実行するためのコンピュータプログラムコードを、Java、Smalltalk、C++などのオブジェクト指向プログラミング言語、および「C」言語または類似のプログラミング言語などの従来の手続き型プログラミング言語を含むが、これらに限定されない1つまたは複数のプログラミング言語で書くことができる。プログラムコードは、ユーザーのコンピュータ上で完全に実行することも、ユーザーのコンピュータ上で部分的に実行することも、スタンドアロンソフトウェアパッケージとして実行することも、ユーザーのコンピュータ上で部分的に実行し、リモートコンピュータ上で部分的に実行することも、リモートコンピュータまたはサーバーで完全に実行することもできる。リモートコンピュータが関係する場合では、リモートコンピュータは、LANまたはWANを含むあらゆる種類のネットワークを介して、ユーザーのコンピュータに接続されるか、または外部コンピュータ（例えば、インターネットサービスプロバイダーを介したインターネット接続）に接続することができる。

10

【 0 0 8 9 】

図面におけるフローチャートおよびブロック図は、本開示のさまざまな実施例によるシステム、方法、およびコンピュータプログラムの実現可能なアーキテクチャ、機能性、および動作を示す。これに関して、フローチャートまたはブロック図の各ブロックは、指定された論理機能を実現するための1つ以上の実行可能な命令を含むモジュール、プログラムセグメント、またはコードの一部を表すことができる。また、いくつかの代替実装では、ブロック内に示されている機能が、図に示されている順序と異なる順序で実行される可能性があることにも留意されたい。例えば、次々に表示される2つのブロックは、実際には実質的に並行して実行されてもよく、関係する機能に応じて逆の順序で実行されてもよい。ブロック図および/またはフローチャート図の各ブロック、およびブロック図および/またはフローチャート図におけるブロックの組み合わせは、指定された機能または動作を実行する専用のハードウェアベースのシステムによって実現できるか、または特殊なハードウェアとコンピュータ命令の組み合わせを使用して実現できる。

20

【 0 0 9 0 】

本開示の実施例に係るユニットは、ソフトウェアまたはハードウェアで実現することができる。モジュールの名称は、ある場合には当該モジュール自体を制限するものではない。

【 0 0 9 1 】

本明細書で記述した機能は、少なくとも部分的に、1つまたは複数のハードウェア論理コンポーネントによって実行することができる。例えば、限定されないが、使用可能なハードウェア論理コンポーネントの典型的なタイプとしては、フィールドプログラマブルゲートアレイ(Field Programmable Gate Array, FPGA)、特定用途向け集積回路(Application Specific Integrated Circuit, ASIC)、特定用途向け標準製品(Application Specific Standard Parts, ASSP)、システムオンチップ(System on Chip, SOC)、複雑なプログラマブルロジックデバイス(Complex Programmable Logic Device, CPLD)などを含む。

30

【 0 0 9 2 】

本開示の文脈において、機械読み取り可能な媒体は、命令実行システム、装置、またはデバイスによって使用されるか、またはそれらの組み合わせによって使用されるプログラムを含むか、または記憶することができる有形の媒体であってもよい。機械読み取り可能な媒体は、機械読み取り可能な信号媒体または機械読み取り可能な記憶媒体であってもよい。機械読み取り可能な記憶媒体は、電子、磁気、光、電磁、赤外線、または半導体システム、装置またはデバイス、またはそれらの任意の適切な組み合わせを含むことができるが、これらに限定されない。機械読み取り可能な記憶媒体のより具体的な例には、1つまたは複数のワイヤベースの電気接続、ポータブルコンピュータディスク、ハードドライブ、RAM、ROM、EPROMまたはフラッシュメモリ、光ファイバ、CD-ROM、光記憶デバイス、磁気記憶デバイスまたは上記の任意の適切な組み合わせが含まれる。

40

50

【 0 0 9 3 】

本開示の1つ以上の実施例によれば、例1は、撮影ページに対するページ表示操作に
答して、撮影ページを表示し、第1メディアコンテンツに関連するプロンプト情報を前記
撮影ページに表示するステップであって、前記第1メディアコンテンツは、ユーザーがプ
リセットフィールドバック操作を実行するメディアコンテンツであり、前記プロンプト情報
は、ターゲット特殊効果のターゲットプレビュー画面を表示するために使用され、前記タ
ーゲット特殊効果は、前記第1メディアコンテンツで使用される撮影の特殊効果である、
ステップと、前記ターゲット特殊効果を使用して撮影するためのトリガー操作に答して
、前記ターゲット特殊効果を使用して第2メディアコンテンツを撮影するステップと、を
含む、メディアコンテンツの撮影方法を提供する。

10

【 0 0 9 4 】

本開示の1つ以上の実施例によれば、例2は、例1に記載の方法に基づいて、第1メデ
ィアコンテンツに関連するプロンプト情報を前記撮影ページに表示するステップは、プロ
ンプトウィンドウを前記撮影ページに表示し、第1メディアコンテンツのメディアコンテ
ンツ情報および/またはターゲット特殊効果の特殊効果情報を表示するか、または、プロ
ンプトウィンドウを前記撮影ページに表示し、第1メディアコンテンツを前記プロンプト
ウィンドウに表示するステップを含む。

【 0 0 9 5 】

本開示の1つ以上の実施例によれば、例3は、例2に記載の方法に基づいて、第1メデ
ィアコンテンツに関連するプロンプト情報を前記撮影ページに表示した後、前記プロンプ
トウィンドウに付加される特殊効果プレビュー操作に答して、前記ターゲット特殊効果
のターゲットプレビュー画面を前記撮影ページに表示するステップをさらに含む。

20

【 0 0 9 6 】

本開示の1つ以上の実施例によれば、例4は、例1に記載の方法に基づいて、第1メデ
ィアコンテンツに関連するプロンプト情報を前記撮影ページに表示するステップは、前記
ターゲット特殊効果のターゲットプレビュー画面を前記撮影ページに表示するステップを
含む。

【 0 0 9 7 】

本開示の1つ以上の実施例によれば、例5は、例4に記載の方法に基づいて、前記ター
ゲット特殊効果のターゲットプレビュー画面を前記撮影ページに表示した後、前記ターゲ
ット特殊効果のプレビューキャンセル操作に答して、前記ターゲットプレビュー画面の
表示をキャンセルするステップをさらに含む。

30

【 0 0 9 8 】

本開示の1つ以上の実施例によれば、例6は、例3または例4に記載の方法に基づいて
、前記ターゲット特殊効果のターゲットプレビュー画面を前記撮影ページに表示した後、
前記第1メディアコンテンツにおけるターゲットバックグラウンドミュージックをバック
グラウンドミュージックとして追加するか、および/または前記撮影ページに表示される
特殊効果パネルコントロールのコントロール名を、前記ターゲット特殊効果の特殊効果名
に切り替えて表示するステップとをさらに含み、前記特殊効果パネルコントロールは、特
殊効果パネルをトリガーして表示するように構成される。

40

【 0 0 9 9 】

本開示の1つ以上の実施例によれば、例7は、例1～5のいずれか1つに記載の方法に
基づいて、第1メディアコンテンツに関連するプロンプト情報を前記撮影ページに表示し
た後、切り替え操作に答して、前記撮影ページに表示されるプロンプト情報を切り替え
るステップをさらに含み、異なるプロンプト情報は、異なる第1メディアコンテンツに関
連付けられる。

【 0 1 0 0 】

本開示の1つ以上の実施例によれば、例8は、例1～5のいずれか1つに記載の方法に
基づいて、前記プリセットフィールドバック操作は、お気に入り操作を含む。前記方法は、
第1メディアコンテンツをお気に入り操作に答して、前記第1メディアコンテンツをお

50

気に入りに追加するか、または前記第 1 メディアコンテンツおよびターゲット特殊効果をお気に入りに追加するステップをさらに含む。

【 0 1 0 1 】

本開示の 1 つ以上の実施例によれば、例 9 は、撮影ページに対するページ表示操作に
答して、撮影ページを表示し、第 1 メディアコンテンツに関連するプロンプト情報を前記
撮影ページに表示するように構成されるページ表示モジュールであって、前記第 1 メ
ディアコンテンツは、ユーザーがプリセットフィードバック操作を実行するメディアコン
テンツであり、前記プロンプト情報は、ターゲット特殊効果のターゲットプレビュー画面を
表示するために使用され、前記ターゲット特殊効果は、前記第 1 メディアコンテンツで使
用される撮影の特殊効果である、ページ表示モジュールと、前記ターゲット特殊効果を使
用して撮影するためのトリガー操作に答して、前記ターゲット特殊効果を使用して第 2
メディアコンテンツを撮影するように構成される撮影モジュールとを含む、メディアコン
テンツの撮影装置を提供する。

10

【 0 1 0 2 】

本開示の 1 つ以上の実施例によれば、例 10 は、1 つ以上のプロセッサと、1 つ以上の
プログラムを記憶するように構成されるメモリとを含む電子デバイスを提供し、前記 1
つ以上のプログラムが前記 1 つ以上のプロセッサによって実行されると、前記 1 つ以上の
プロセッサは、例 1 ~ 8 のいずれか 1 つに記載のメディアコンテンツの撮影方法を実行する。

【 0 1 0 3 】

本開示の 1 つ以上の実施例によれば、例 11 は、コンピュータプログラムが記憶された
コンピュータ読み取り可能な記憶媒体を提供し、当該プログラムがプロセッサによっ
て実行されると、例 1 ~ 8 のいずれか 1 つに記載のメディアコンテンツの撮影方法を実
行する。

20

【 0 1 0 4 】

本開示の 1 つ以上の実施例によれば、例 12 は、コンピュータプログラムをさらに提供
し、前記コンピュータプログラムがコンピュータによって実行されると、前記コンピ
ュータに例 1 ~ 8 のいずれか 1 つに記載のメディアコンテンツの撮影方法を実行させる。

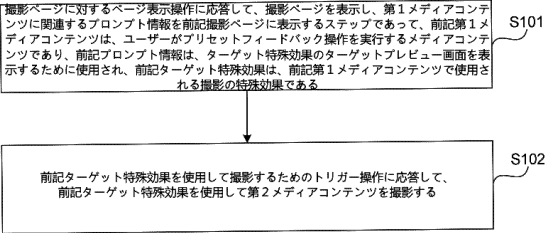
30

40

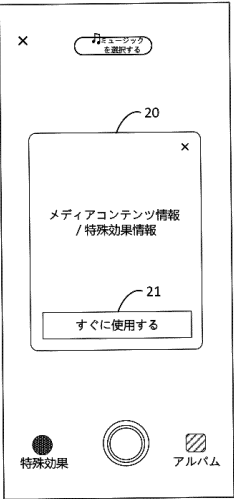
50

【図面】

【図 1】

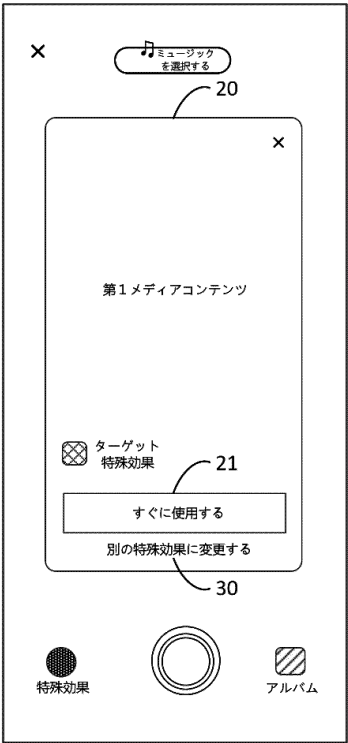


【図 2】

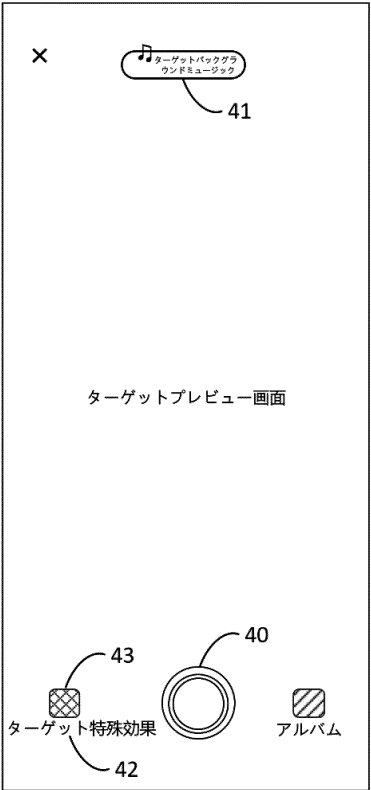


10

【図 3】



【図 4】



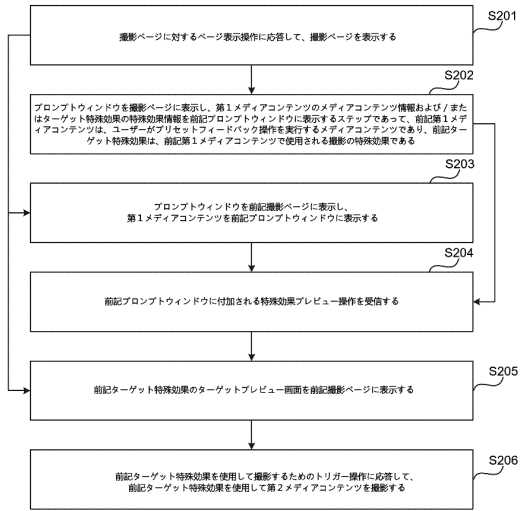
20

30

40

50

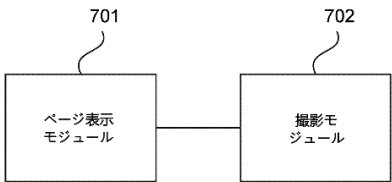
【図 5】



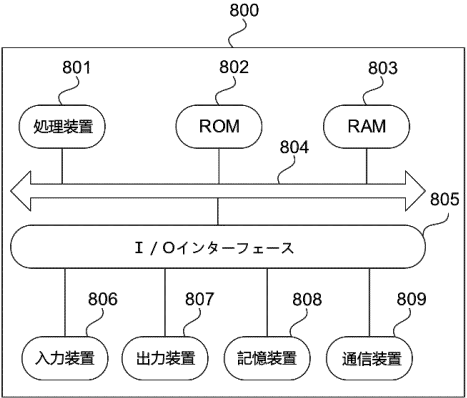
【図 6】



【図 7】



【図 8】



10

20

30

40

50

フロントページの続き

- 弁理士 中横 利明
- (72)発明者 ジャン, ゼオチエン
- 中国 1 0 0 0 2 8 ベイジン, チャオヤン ディストリクト, チション ミドル ストリート, コー
トヤード, ナンバー・1 2, フュージョン センター, ビー 1 フロアー, ポスト オフィス
- (72)発明者 リ, ジョナン
- 中国 1 0 0 0 2 8 ベイジン, チャオヤン ディストリクト, チション ミドル ストリート, コー
トヤード, ナンバー・1 2, フュージョン センター, ビー 1 フロアー, ポスト オフィス
- 審査官 堀井 康司
- (56)参考文献 中国特許出願公開第 1 1 2 3 5 1 2 0 3 (C N , A)
- 中国特許出願公開第 1 0 6 2 9 4 8 3 1 (C N , A)
- (58)調査した分野 (Int.Cl., D B 名)
- H 0 4 N 5 / 2 2 2 - 5 / 2 5 7
- H 0 4 N 2 3 / 0 0
- H 0 4 N 2 3 / 4 0 - 2 3 / 7 6
- H 0 4 N 2 3 / 9 0 - 2 3 / 9 5 9
- H 0 4 N 5 / 2 6 2
- G 0 6 F 3 / 0 1